

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年3月3日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	郡山市	代表者名	品川 萬里
担当者部署	産業観光部	連絡先電話番号	024-924-2251
担当者役職	係長	担当者氏名	深谷大一郎
住所	963-8601 福島県郡山市朝日1丁目23番7号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	10/23に実施した事前打ち合わせ(実地)、1/19に実施した講演会(オンライン)を踏まえて、また、森戸アドバイザーの住所地である福岡県において緊急事態宣言が継続されたことから、完全オンラインによる講演会(2回目)を開催し、受講者から概ね満足したアンケート結果が得られた。 ・テーマ「アフターコロナ時代のDX×新規事業創出セミナー(製造・小売・建設・流通・サービス業界編)」 ・当日の受講人数:23名(申込者40名、アーカイブ受講あり) ・受講者満足度の平均:8.2点(10点満点)
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月25日	19時00分	21時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名			最寄駅	
	所在地			最寄駅からの交通手段	
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	企業、支援機関、行政	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市では、新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化している企業等を対象に、雇用の維持、事業継続のための「中小企業等応援プロジェクト」を実施しているが、当面の資金繰りに苦慮している企業等が多く、アフターコロナを見据えたDXなどに取り組む事業者は少ないように思われる。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	ウィズコロナ、ポストコロナを踏まえ、企業がDXを推進するための一助となるよう、本オンラインセミナーにより、DXについて理解を深めてもらうこと。また、本市と関係機関が連携しながら企業等にコロナ対策の各種事業をPRし、それら事業を活用する企業等が増え、雇用の維持、事業継続が図られ、またアフターコロナを見据えたDXを目指す企業等も増えてくること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	今回のセミナーでは、特に製造・小売・建設・流通・サービス業界の事業に特化し、ウィズコロナ、ポストコロナを踏まえ、企業がDXを推進するために必要な考え方、実践事例等の紹介をすることで、DXについて理解を深めることができた。併せて、地域の課題解決のためには、企業等が、働き方改革、テレワーク推進、シェアリングエコノミーなども推進していくことが必要であること、また、最新のSNSであるClubhouseについても触れた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	中小企業等によるDX推進、働き方改革、テレワーク、シェアリングエコノミーの推進など、コロナ禍だからこそ求められることについて、また、今はVUCAの時代と言われるように、ビジネス環境と求められる人材が大きく変化していることも理解できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない ・当日の受講者:23人 ・受講者満足度の平均:8.2点(10点満点) (当日の不参加者に対してはアーカイブ配信)
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	全2回のセミナーは、企業がDXを進めるために必要な知識や心構えを理解してもらう内容であったため、次年度以降は、本市独自の補助制度である企業のテレワーク化を推進するための補助金との関連付けを深めつつ、具体的なDXの実践につながるような取り組みを検討していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・受講者満足度の平均:8.2点(10点満点) 地方創生にはDXが必要であること、IT化とDXは別物であることが理解できた、おおむね前向きな感想が多かった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	本市と関係機関が連携しながら企業等にDXの必要性や事業をPRし、企業等がウィズコロナ、ポストコロナを踏まえた業態転換や新規事業の創出が図られること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

